

2021 年度

第 2 回マスターズホッケーJAPAN CUP2021

トレーナー活動報告書



期間：2021 年 10 月 23 日（土）～24 日（日）

会場：岡山県赤磐市熊山運動公園多目的広場

報告者：河西紀秀

関係者各位

## 第2回マスターズホッケーJAPAN CUP2021

拝啓

深秋の候、皆様におかれましては益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。2021年10月23、24日に開催された、第2回マスターズホッケーJAPAN CUP2021におけるトレーナー活動をご報告させていただきます。

今大会におけるトレーナー対応件数（再来含む）は40件（選手176名：利用率23%）であった。中でも、大半の選手が、大腿及び下腿部などに軟部組織損傷を疑う症状があり、全体の7割を占めていました。

選手の中には、既に大会の数ヶ月より患部の痛みや違和感が生じており、不安を抱えたまま、大会当日を迎えた選手の存在も確認できました。日常におけるケアやコンディショニング不足などの要因も影響していると思われます。

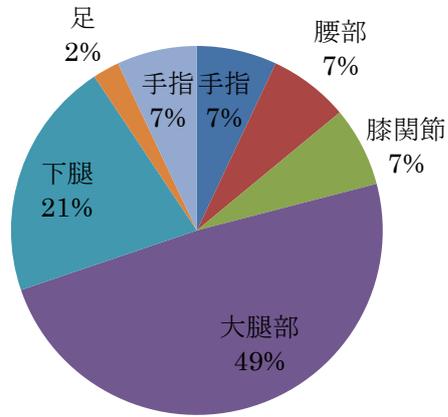
処置内容においてはテーピング対応が多く、対応した選手の7割以上を占めました。中には、エクササイズの指導や助言を求めてくる選手もおり、生涯現役選手としてホッケーを楽しむための、身体づくりを積極的に実践されている方々の存在も確認できました。1件、救急搬送（口腔内裂傷を疑う）がありましたが、医療機関での迅速な対応により処置がなされたとの報告を聞いています。

コロナ禍における練習機会の減少や各大会中止などの影響もあり、コンディショニングの調整が難しい状況ではあったかと思いますが、今大会を通して大きな怪我なく、大会を無事に終えることができました。最後にJHA及び岡山県ホッケー協会、多くの大会関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

敬具

2021年10月27日  
JSPO-AT  
河西紀秀

## 対応部位



## 処置内容

